

達成度(評価)	
A:	十分達成できている
B:	おおむね達成できている
C:	やや不十分である
D:	不十分である

学校名	佐賀市立嘉瀬小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	・地域連携が強固であるという、嘉瀬小のよさ、強みを生かして、児童の育成に努めた。地域のために自分を生かそうとする児童の主体性や地域への愛着を育てるため、今後も教育カリキュラムを見直し、行事等を吟味しながら教育活動を進めていく。 ・学力向上のため、教職員の共通理解を図り、授業形態を見直し一斉に取り組んだことが成果につながった。学習目標と評価を一体化し、児童に学習調整力(振り返り・改善等)をつけることが大切である。
------------------	--

2 学校教育目標	ふるさと嘉瀬を愛する青藍の子の育成
----------	-------------------

3 本年度の重点目標	①教育課程を見直したり、行事の精選を図ったりしながら、地域と共に育つ児童の育成を目指す。 ②目標と評価を一体化し、学習調整力を育てるための授業改善を図る。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートのマイブランの成果指標を達成した教師が90%以上。	・教職員間でマイブランを共有し、校内研修等により取組の促進を図る。 ・全員公開授業を行う。							・学び部 指導教諭 ・研究主任
	○基礎学力の向上を図ることができたか。	○児童アンケートにおいて、「授業の内容がわかる」の評価を90%以上。 ○12月の学習状況調査及びCRTで県平均以上。 ○保護者評価において、「学校は学力の向上に取り組んでいる」の評価を90%以上。 ○家庭学習、課題提出率が90%。	・課題提示の方法や見通しのもとせ方など授業改善のための研究を行う。 ・家庭と連携し「家庭学習の手引き」をより活用していく方法を検討していく。 ・様々な教科で家庭学習の充実を図っていく。 ・誤答傾向を検討し、問題把握や課題解決に向けての情報を整理する力等をつけていく方策を考える。							・学び部:指導教諭
	○読書習慣の定着	○低学年120冊、中学年100冊、高学年80冊の目標を設定し、80パーセント以上の児童が達成する。	・家庭と連携し読書の大切さを啓発し、望ましい読書習慣の形成を進める。 ・司書との連携を進め、年度の途中で中間評価を行い、学年や学級の読書状況を把握する等、必読図書読破者や貸出冊数が増える取り組みを図る。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○保護者アンケートで、「よく取り組んでいる」の評価を90パーセント以上。 ○友達に対するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童が80%以上。 ○道徳科の授業に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした職員が80%以上。	・友達の良さを認める活動や人権教室を充実させ、思いやりのある豊かな心の教育に取り組む。 ・命の大切さについて考える講演会等の開催を検討していく。 ・全校児童でのあいさつ運動(タッチ)は続けるとともに保護者にも呼びかけ、あいさつ運動を広げる。 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施。							・こころ部:人権・同和(光吉) ・こころ部:道徳(酒井)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○教職員アンケートで「いじめの対応は十分だったか」に肯定的な回答をした職員が90%以上。	・いじめにつながるからかいや児童間トラブルを早期に発見するため、毎月アンケートを実施する。 ・保護者や専門機関と連携し、早期対応をめざす。							・こころ部:教育相談担当(宮崎、西村わ)
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童を60%以上。	・体育委員会を中心に全校遊びやサガンキッズ月間を実施したり、学級で体づくり運動を狙った外遊びを奨励する。							・育ち部:委員会、体育の行事(酒井)
	●望ましい生活習慣の形成	○早寝・早起き・朝ごはんの家庭への啓発を強化し、90パーセント以上の児童が達成する。	・「保健便り給食便り」等を通して早寝・早起き・朝ごはんの啓発を進める。 ・学校栄養職員や養護教諭との連携を図り、学級活動や教科指導などで食の大切さや健康についての意識向上を図る。							・こころ部:健康教育(西村わ) ・育ち部:食育(橋口、江島)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる超過勤務時間の上限を45時間とし、遵守する。 ○業務改善に関するアンケートで肯定的な回答をした職員80%以上。	・定時退勤日、学校閉庁日の設定と全職員への周知。 ・超過勤務時間が多い職員については、個別に声かけや指導を行う。 ・業務の平準化を図る。仕事は一人に任せず、複数人数で行う。 ・業務改善に関する職員研修を実施する。							・教頭
	○教職員の資質向上と組織の活性化	○「資質向上、組織の活性化」等に関するアンケートで、肯定的な回答職員80%以上。	・全員研究授業を実施する。 ・授業研究会を工夫し、教師同士による学び合いの場を設ける。							・指導教諭 ・研究主任

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)								
◎地域と共に発展する教育	◎児童が地域の良さを語り、夢や希望の実現に向けて主体的・意欲的に取り組もうとするための教育活動を行う。	◎「地域のよさを感じる事ができたか」等のアンケートで、肯定的な回答をした児童が80%以上。 ◎「目標(夢)を持ち、主体的に活動できたか」等のアンケートで、肯定的な回答をした児童が80%以上。	・生活科、総合的な学習および教科等の授業へゲストティーチャーを活用したり、KSVNの学習支援を活用したりする。 ・地域行事への積極的な参加の呼びかけ、行事への児童の参画を促す。 ・キャリア教育に係わる活動を見通したり振り返ったりして記述するキャリアパスポートを活用する。							・教頭  ・育ち部:特活(光吉)

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------